

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	16	部名	生涯学習部	部長名	木下 登志子
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>教育大綱に基づき、市民が生涯にわたって生き生きとくらすための学習体制の充実を図る施策や事業を推進します。また、第三次生涯学習推進計画に掲げる「学び、活かし、つながるまち 我・孫・子」の基本方針を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたって学習を継続し、その成果を活かし、学習を通してつながるまちを目指して、関係各課との密接な連携のもとに、生涯学習施策の推進に取り組みます。</p> <p>●生涯学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、図書館、鳥の博物館などでは、市民の学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域特性や社会動向に配慮した学習機会の充実に努めます。また、学習情報の提供・学習相談等により、自主的な学習活動を支援します。平成32年の市制施行50周年に向けて、記念事業の実施を検討・準備します。</li> <li>・「我孫子市子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所で自主的に読書活動を行うことができるよう、学校及び関係機関等とより連携を強めながら積極的にそのための環境整備に取り組みます。</li> <li>・施設の整備・充実では、公民館、図書館、鳥の博物館など施設・機能の充実に努めます。適正な維持管理や計画的な修繕を行うとともに、学校施設や既存施設を有効活用し、身近な学習の場の確保に努めます。</li> <li>・学習で得た知識や経験を社会で活かすしくみづくりを進め、まちづくり活動へと発展するよう支援します。また、子どもの成長と自立への支援のため子ども部と連携し、地域の子どもの関係団体の活動を支援します。</li> <li>・新たな文化交流拠点施設の整備に向けて取り組みます。</li> </ul> <p>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が文化芸術に触れ、参加できる機会を充実するとともに、文化芸術活動の創出や地域固有の文化の保存・継承に取り組みます。</li> <li>・旧井上家住宅をはじめとした史跡や文化的資源の保存・活用を図るとともに、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を「我孫子の大正・昭和文化遗产」として、相互補完と連携強化を進め、創造的文化的歴史を体感する空間づくりを通じて魅力向上を図る等、さらに効果的な事業運営に取り組みます。</li> </ul> <p>●スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など地域の人材と連携したイベントの実施、総合型地域スポーツクラブの活動支援などを通して、子どもから高齢者まで誰もが身近な場所でスポーツを楽しみ、健康な生活が送れるよう生涯スポーツの推進を図ります。また、生涯スポーツを支える指導者の育成に関係団体等と連携し取り組みます。</li> <li>・東京2020年パラリンピックへの参加や関連事業の実施など、東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を高める事業を関係各課や団体と連携して取り組みます。</li> <li>・体育施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設開放の適切な管理運営、民間スポーツ施設の活用や近隣市のスポーツ施設との相互利用によるスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに取り組みます。</li> <li>・新たなサッカー場整備に向けて五本松運動広場の改修に取り組みます。</li> </ul>				<p>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承では、文化祭や郷土芸能祭、子どもの舞台鑑賞など自主事業を行うとともに、共催・後援事業を実施した。また、白樺文学館、杉村楚人冠記念館等の施設相互連携を図ることや企画展の開催を通して魅力向上を図った。</p> <p>●スポーツの振興では、関係団体と連携してイベントを開催し生涯スポーツの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック大会の機運を高めるため、市内中学校と連携して、パラリンピック選手を招き競技を体験する事業を実施。</li> <li>・市民体育館大規模改修工事に向けて実施設計を行った。学校施設開放や民間スポーツ施設の活用を図りスポーツ活動の環境づくりに取り組んだ。</li> <li>・五本松運動広場改修に向けてJFA等の協力を得ながら計画づくりに取り組んだ。</li> </ul>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				生涯学習基本計画に基づき、関係各課と密接に連携しながら施策を推進した。概ね部の運営方針に沿って事業を展開することができた。	
				●生涯学習環境の充実では、各課が様々な場所で連携しながら様々な講座やイベントに取り組んだ。また、計画的な施設維持管理のため、公民館、図書館、市民体育館、鳥の博物館の長寿命化計画を策定した。	
				●文化芸術活動への支援と地域文化の継承では、特に文化財保存活用地域計画の作成や、文化祭や共催・後援の見直しに取り組んだ。	
				●スポーツの振興では、台風やコロナ禍の下、連絡を密にししながら指定管理者制度による体育施設の運営、施設の修繕を行った。また、総合型地域スポーツクラブを始めとしたスポーツ団体の支援に取り組んだ。	
				・東京2020年オリンピック・パラリンピック関連イベントや市制施行50周年記念事業の検討を進めることができた。	

課コード	02	課名	文化・スポーツ課	課長名	小林 由紀夫
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○市制50周年に向けた記念事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成32年の市制50周年に向けて、子ども達の思い出に残る記念事業の実施を検討します。</li> </ul> <p>○文化芸術活動への支援と地域文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が文化芸術に触れる・参加する機会、また、創造する機会として市民文化祭の開催や市民の自主的な活動を促進するため共催・後援事業の充実を図ります。</li> <li>・地域固有の文化である伝統文化の保存・継承を図るため、郷土芸能祭を開催し、郷土芸能活動団体や小中学生を含む後継者の育成を支援します。</li> <li>・旧井上家住宅をはじめとする文化財資源の保存・活用に努め、継承していきます。</li> <li>・白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を「我孫子の大正・昭和文化遗产」と位置付け、一体のものとして連携するとともに、所蔵する資料の効果的活用と各施設の効果的な運営を行います。</li> <li>・市史資料調査や埋蔵文化財の発掘調査を通じて得た歴史資料を基に、我孫子の歴史について市のホームページ、湖北郷土資料室、文化財展等で分かりやすく情報発信していきます。</li> </ul> <p>○スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会・スポーツ少年団による競技大会の開催やスポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツイベント等とおして生涯スポーツの推進に取り組みます。</li> <li>・スポーツ指導者養成講座を開催し生涯スポーツを支える人材の育成を図ります。</li> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて事前キャンプ招致やボランティア養成講座の開催をおして機運の醸成を図ります。</li> <li>・市民体育館を始めとした体育施設の維持補修、学校体育施設開放事業、民間スポーツ施設、近隣市のスポーツ施設相互利用などをおしてスポーツ活動の環境づくりに取り組みます。</li> <li>・五本松運動広場の改修について、日本サッカー協会などの協力を得ながら整備手法などの検討に取り組みます。</li> </ul>				<p>○市制50周年に向けた記念事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課と連携を図り山下清展の開催を検討し関係者と協議を図った。</li> </ul> <p>○文化芸術活動への支援と地域文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化祭・子どもの舞台鑑賞・市民コンサートの開催を通して市民が文化芸術に触れる機会を創出した。</li> <li>・郷土芸能祭を開催し伝統文化の保存・継承を図った。</li> <li>・文化財展の開催、白樺文学館・杉村楚人冠記念館・旧村川別荘を活用し様々な企画展を開催、また、市民図書館と連携した事業を実施し効果的に魅力発信を行えた。</li> <li>・全市民的に文化財の保存と活用が図れるよう、文化財保存活用地域計画の策定に取り組んだ。</li> </ul> <p>○スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市スポーツ協会と連携を図り市民体育大会を開催。共催事業として、市民スポーツフェスタ・新春マラソン大会の開催をし生涯スポーツの推進に取り組んだ。</li> <li>・共催事業とし、スポーツ推進委員、スポーツ協会と共にと大人のスポーツテストを実施し市民の健康への意識向上を図った。</li> <li>・日本トップリーグ連携機構との共同開催で、ボールゲームフェスタを開催し子どもたちにスポーツの素晴らしさを伝えた。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックに向けて市内中学校にパラアスリートを招き競技と一緒に体験することで、パラリンピック競技の理解を深めることができた。</li> <li>・指導者養成講座、ボランティア養成講座を開催し生涯スポーツを支える人材の育成を図った。</li> <li>・市内スポーツ施設の維持補修を計画的に行いスポーツ活動の環境づくりを進めた。</li> <li>・指定管理者制度を利活用し、多彩な事業を展開し市民の健康増進・保持に寄与した。</li> </ul>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動への支援の充実に向けて体制を整える必要がある。</li> <li>・公共工事・民間開発工事に伴う遺跡発掘調査、旧井上家住宅の保存整備工事、体育施設の維持・管理、大規模改修など新たな展開が予測されるため、遺跡発掘調査、建築・土木の設計監理のできる専門的知識を持った職員の日常的な参画が必要である。また、市内に残された古文書などの市史資料の解析とデジタル化を担当する職員の配置が必要である。</li> </ul>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に引き続き文化振興事業全般を見直しし、若干の課題はあるが、文化祭、子どもの舞台鑑賞については、実行委員会の規約改正など成果が上がった。今後は、市民文化祭の運営方法について持続可能なものとするための検討を文化団体とともに協議していく。共催事業のあり方を整理する必要があるため市長部局と調整を図る。</li> <li>・文化財保存活用地域計画について策定委員会を立ち上げ検討に入り、来年度の策定完了を目指す。</li> <li>・五本松運動広場改修工事に向けて来年度以降、具体的な検討を行っていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前例にとられることなく時代に即した見直しを行っている。将来を見据えて関係団体・関係機関と必要な調整を行いながら引き続き取り組んでいく。</li> <li>・課題である五本松運動広場や旧井上家住宅、白樺文学館などの施設・設備についても後年度負担やコスト削減も念頭に整備に向けた取り組みを引き続き行っていく。</li> </ul>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 ふれあいキャンプ場管理運営	重2	11202	キャンプ場の利用者数	人	8,597	8,500	8,597	101.14	現状	
2 文化事業市民スタッフの活用	重無	53101	事業へのスタッフの協力者数	人	84	120	84	70	現状	
3 文化芸術団体活動支援	重無	53101	参加者(鑑賞者)数(共催している事業の参加者数)	人	48,579	59,000	48,579	82.34	見直し	
4 文化芸術振興基本方針の推進	重無	53101	推進した進捗率	%	100	100	100	100	その他	
5 市民コンサート	重無	53102	来場者数	人	897	950	897	94.42	結合	
6 文化祭	重無	53102	参加者数	人	3,624	4,900	3,624	73.96	結合	
7 めるへん文庫	重無	53101	応募作品数	編	159	190	159	83.68	現状	
8 子どものための舞台鑑賞事業	重無	53102	入場者数	人	181	400	181	45.25	現状	
9 寄贈絵画の保存と活用	重無	53102	入場者数	人	0	1,000	0	0	現状	
10 市民参加型コンサート	重無	53102	主催事業実施回数	回	1	1	1	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	郷土芸能活動の保護育成	重無	53201	郷土芸能祭参加者数	人	105	100	105	105	現状
12	不特定遺跡発掘調査	重無	53302	発掘調査実施率（実施件数／発掘調査しなければならない件数）	%	100	100	100	100	現状
13	文化財の指定調査と保存支援	重2	53301	指定件数（累計）平成31年度	件	16	17	17	100	現状
14	民間開発発掘調査	重無	53302	発掘調査実施率（実施件数／発掘調査しなければならない件数）	%	100	100	100	100	現状
15	考古遺物整理	重無	53302	刊行冊数（累計）	冊	61	63	63	100	現状
16	文化財説明板・誘導板の整備	重無	53303	説明板・誘導板の設置数（累計）	基	72	74	76	102.7	現状
17	文化財展示会の実施	重無	53303	文化財展示会来場者数	人	954	1,100	1,467	133.36	現状
18	電腦考古博物館の運営	重無	53303	電腦考古博物館アクセス件数	件	98,373	110,000	150,481	136.8	現状
19	市史調査研究	重無	53302	市史関係図書の刊行数	冊	83	85	86	101.18	現状
20	杉村楚人冠邸の保存と活用	重2	53301	年間入場者数	人	3,194	4,000	2,612	65.3	現状
21	白樺文学館の運営	重2	53301	年間入場者数	人	4,754	5,000	4,703	94.06	現状
22	体育施設管理運営事業	重無	51301	体育施設の延べ利用者数	人	74,980	100,000	74,980	74.98	現状
23	学校体育施設開放事業	重無	51301	延べ利用者数	人	0	210,000	198,462	94.51	現状
24	体育施設維持補修（含む放射能対策）	重無	51301	維持補修の進捗率	%	100	100	100	100	現状
25	近隣市町との体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	重無	51301	一般開放している近隣市町・民間企業等の体育施設の数	施設	3	3	3	100	現状
26	健康スポーツ普及事業	重5	51302	イベント参加者数	人	7,553	11,000	7,553	68.66	現状
27	スポーツ振興事業	重無	51303	交付人数	人	142	150	142	94.67	現状
28	文化財施設の管理・活用	重2	53301	年間来場者数（旧村川別荘）	人	4,615	4,800	3,523	73.4	現状
29	旧井上家住宅の保存と活用	重2	53301	期間：平成31年6月から平成32年9月	%	0	70	70	100	現状
30	武道施設の建設整備の検討	重無	51301	整備計画の進捗率	%	0	100	0	0	現状
31	公共事業発掘調査	重無	53302	発掘調査実施件数	件	1	1	1	100	現状
32	市民体育館管理運営	重無	51301	体育館施設の利用者数	人	163,005	175,000	163,005	93.15	現状
33	市民体育館維持補修	重無	51301	維持補修進捗率	%	100	100	100	100	現状
34	市民体育館改修事業	重無	51301	改修工事進捗率	%	100	100	100	100	現状
35	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み	重無	43101	スポーツボランティア養成講座受講者数	人	19	40	19	47.5	現状
36	文化財保存活用地域計画の推進	重2	53301	文化財保存活用計画の策定	%	0	80	80	100	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	16	部名	生涯学習部	部長名	木下 登志子
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>教育大綱に基づき、市民が生涯にわたって生き生きとくらすための学習体制の充実を図る施策や事業を推進します。また、第三次生涯学習推進計画に掲げる「学び、活かし、つながるまち 我・孫・子」の基本方針を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたって学習を継続し、その成果を活かし、学習を通してつながるまちを目指して、関係各課との密接な連携のもとに、生涯学習施策の推進に取り組みます。</p> <p>●生涯学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、図書館、鳥の博物館などでは、市民の学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域特性や社会動向に配慮した学習機会の充実に努めます。また、学習情報の提供・学習相談等により、自主的な学習活動を支援します。平成32年の市制施行50周年に向けて、記念事業の実施を検討・準備します。</li> <li>・「我孫子市子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所で自主的に読書活動を行うことができるよう、学校及び関係機関等とより連携を強めながら積極的にそのための環境整備に取り組みます。</li> <li>・施設の整備・充実では、公民館、図書館、鳥の博物館など施設・機能の充実に努めます。適正な維持管理や計画的な修繕を行うとともに、学校施設や既存施設を有効活用し、身近な学習の場の確保に努めます。</li> <li>・学習で得た知識や経験を社会で活かすしくみづくりを進め、まちづくり活動へと発展するよう支援します。また、子どもの成長と自立への支援のため子ども部と連携し、地域の子どもの関係団体の活動を支援します。</li> <li>・新たな文化交流拠点施設の整備に向けて取り組みます。</li> </ul> <p>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が文化芸術に触れ、参加できる機会を充実するとともに、文化芸術活動の創出や地域固有の文化の保存・継承に取り組みます。</li> <li>・旧井上家住宅をはじめとした史跡や文化的資源の保存・活用を図るとともに、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を「我孫子の大正・昭和文化遗产」として、相互補完と連携強化を進め、創造的文化的歴史を体感する空間づくりを通じて魅力向上を図る等、さらに効果的な事業運営に取り組みます。</li> </ul> <p>●スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など地域の人材と連携したイベントの実施、総合型地域スポーツクラブの活動支援などを通して、子どもから高齢者まで誰もが身近な場所でスポーツを楽しみ、健康な生活が送れるよう生涯スポーツの推進を図ります。また、生涯スポーツを支える指導者の育成に関係団体等と連携し取り組みます。</li> <li>・東京2020年パラリンピックへの参加や関連事業の実施など、東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を高める事業を関係各課や団体と連携して取り組みます。</li> <li>・体育施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設開放の適切な管理運営、民間スポーツ施設の活用や近隣市のスポーツ施設との相互利用によるスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに取り組みます。</li> <li>・新たなサッカー場整備に向けて五本松運動広場の改修に取り組みます。</li> </ul>				<p>職員が少なくなる中でも、市民スタッフと連携して情報共有に努め、展示解説や自然観察会などを工夫しながら学習機会・学習体制の充実に取り組んだ。また、山階鳥類研究所などと共催で講座や企画展を実施した。来館者が安全に利用できるよう機能維持に努めた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>生涯学習基本計画に基づき、関係各課と密接に連携しながら施策を推進した。概ね部の運営方針に沿って事業を展開することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習環境の充実では、各課が様々な場所で連携しながら様々な講座やイベントに取り組んだ。また、計画的な施設維持管理のため、公民館、図書館、市民体育館、鳥の博物館の長寿命化計画を策定した。</li> <li>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承では、特に文化財保存活用地域計画の作成や、文化祭や共催・後援の見直しに取り組んだ。</li> <li>●スポーツの振興では、台風やコロナ禍の下、連絡を密にしながら指定管理者制度による体育施設の運営、施設の修繕を行った。また、総合型地域スポーツクラブを始めとしたスポーツ団体の支援に取り組んだ。</li> <li>・東京2020年オリンピック・パラリンピック関連イベントや市制施行50周年記念事業の検討を進めることができた。</li> </ul>	

課コード	04	課名	鳥の博物館	課長名	木下 登志子
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然を客観的に理解できるように、鳥類の科学を通じたグローバルな視点と、身近な鳥の生態観察を通じたローカルな視点との両面からの情報収集と提供を行います。</li> <li>・目標を定めた鳥類標本の収集活動を実施するとともに、収蔵標本は人類の共有財産という視点から恒久的な維持管理と情報提供に努めます。</li> <li>・鳥類の生息状況のモニタリング調査を継続し、地域の自然環境の変化をとらえることができるようにします。</li> <li>・市民が、鳥を通じて、地域の自然に愛着を持てるような環境学習活動を展開します。</li> <li>・関連施設との交流・情報交換を行い、各方面に開かれた博物館を目指します。</li> <li>・手賀沼周辺の自然環境を体験的に理解できるような環境学習活動を行います。</li> <li>・市民スタッフや友の会会員を中心に、市民との協働事業を展開します。</li> <li>・地域の小中学校の利用を促進するため、授業で使いやすいプログラムを提示します。</li> <li>・博物館施設の適切な維持管理に努めます。</li> </ul>				<p>学芸員の欠員が生じている中でも、博物館活動を通じて概ね地域の自然について客観的に伝えることが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥類標本については着実に収集することができたが、収集した鳥類の標本作成には手が十分回らなかった。</li> <li>・地域の自然環境の変化を知るデータとなる鳥類の生息状況のモニタリング調査を行った。</li> <li>・関係施設と連携を図り、企画展や講演会を行った。</li> <li>・市民スタッフや友の会と連携しながら環境学習事業を展開した。</li> <li>・博学連携による学習支援は行えなかった。</li> <li>・博物館展示のリニューアルに向けた取り組みは滞ったものの施設の長寿命化計画を作成した。</li> <li>・コロナウィルス感染症の影響で3月には施設一時休館を余儀なくされた。</li> </ul>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>開館以来29年以上経過し、科学の進歩と展示技術の発展に合わせた展示のリニューアルが必要であるが多大なコストがかかる。学芸スタッフの人員を維持しつつ、中長期的な計画を立案し段階的な実現を目指すとともに、博物館周辺の自然環境を活用した体験型の環境学習を発展させる。また、友の会や市民スタッフ、山階鳥類研究所など関連機関との連携・協働をはかり、提供できる情報の質と量ともに充実させ、市民にとって魅力ある博物館運営へと発展させる。</p>					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <p>展示の情報が古くなっており、展示内容の更新は急務である。また、学芸員の補充がない中でこれまでどおりの業務遂行は厳しい状況である。人員配置を要望するのと並行して懸案となっている施設のリニューアルについては、あるべき展示についてコンセプトの確認や事業財源について課内で情報共有し、検討に向け動き出す必要がある。</p>	<p>(部長)</p> <p>展示のリニューアルは急務であると考えている。補助制度を利用して財源を確保することも視野に早期にリニューアルの基本計画策定を進める必要がある。</p>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 てがたん	重2	11203	平均事業参加人数	人	31	24	31	129.17	現状	
2 あびこ自然観察隊	重2	11203	平均事業参加人数	人	18	24	18	75	現状	
3 ジャパンバードフェスティバル	重2	11203	参加団体数	団体	189	162	189	116.67	現状	
4 室内啓発イベント	重2	11203	事業参加人数	人	1,588	1,400	1,588	113.43	現状	
5 常設展の充実	重無	51103	来館者数	人	32,580	37,000	32,580	88.05	現状	
6 企画展の実施	重無	51103	来館者数	人	32,580	37,000	32,580	88.05	現状	
7 ミュージアムショップの充実	重2	11203	売上高	円	3,405	3,960	3,405	85.98	現状	
8 博物館施設設備の維持管理	重無	51103	入館者数	人	32,580	37,000	32,580	88.05	現状	
9 友の会・市民スタッフの活動支援	重無	51103	友の会・市民スタッフの登録人数	人	321	390	321	82.31	現状	
10 鳥類生息状況調査	重無	51201	調査回数	回	14	24	14	58.33	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	鳥類標本・資料の収集	重無	51201	製作標本数	点	2,813	2,900	2,813	97	現状
12	図書・映像資料の整理とデータ作成	重無	51201	書籍蔵書数	冊	4,506	4,050	4,506	111.26	現状
13	常設展示リニューアル	重無	51103	文献等資料数	点	86	90	86	95.56	現状

部コード	16	部名	生涯学習部	部長名	木下 登志子
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>教育大綱に基づき、市民が生涯にわたって生き生きとくらすための学習体制の充実を図る施策や事業を推進します。また、第三次生涯学習推進計画に掲げる「学び、活かし、つながるまち 我・孫・子」の基本方針を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたって学習を継続し、その成果を活かし、学習を通してつながるまちを目指して、関係各課との密接な連携のもとに、生涯学習施策の推進に取り組みます。</p> <p>●生涯学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、図書館、鳥の博物館などでは、市民の学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域特性や社会動向に配慮した学習機会の充実に努めます。また、学習情報の提供・学習相談等により、自主的な学習活動を支援します。平成32年の市制施行50周年に向けて、記念事業の実施を検討・準備します。</li> <li>・「我孫子子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所で自主的に読書活動を行うことができるよう、学校及び関係機関等とより連携を強めながら積極的にそのための環境整備に取り組みます。</li> <li>・施設の整備・充実では、公民館、図書館、鳥の博物館など施設・機能の充実に努めます。適正な維持管理や計画的な修繕を行うとともに、学校施設や既存施設を有効活用し、身近な学習の場の確保に努めます。</li> <li>・学習で得た知識や経験を社会で活かすしくみづくりを進め、まちづくり活動へと発展するよう支援します。また、子どもの成長と自立への支援のため子ども部と連携し、地域の子どもの関係団体の活動を支援します。</li> <li>・新たな文化交流拠点施設の整備に向けて取り組みます。</li> </ul> <p>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が文化芸術に触れ、参加できる機会を充実するとともに、文化芸術活動の創出や地域固有の文化の保存・継承に取り組みます。</li> <li>・旧井上家住宅をはじめとした史跡や文化的資源の保存・活用を図るとともに、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を「我孫子の大正・昭和文化遗产」として、相互補完と連携強化を進め、創造的文化的歴史を体感する空間づくりを通じて魅力向上を図る等、さらに効果的な事業運営に取り組みます。</li> </ul> <p>●スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など地域の人材と連携したイベントの実施、総合型地域スポーツクラブの活動支援などを通して、子どもから高齢者まで誰もが身近な場所でスポーツを楽しみ、健康な生活が送れるよう生涯スポーツの推進を図ります。また、生涯スポーツを支える指導者の育成に関係団体等と連携し取り組みます。</li> <li>・東京2020年パラリンピックへの参加や関連事業の実施など、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を高める事業を関係各課や団体と連携して取り組みます。</li> <li>・体育施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設開放の適切な管理運営、民間スポーツ施設の活用や近隣市のスポーツ施設との相互利用によるスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに取り組みます。</li> <li>・新たなサッカー場整備に向けて五本松運動広場の改修に取り組みます。</li> </ul>				<p>○学級・講座を計画通り実施するとともに、HPやチラシなどにより学習情報の提供に努め、様々な年齢層の市民が学習できるように努めた。</p> <p>○学んだことを活かすきっかけとなるよう、長寿大学、熟年備学で地域での活動を促す講座を行った。</p> <p>○軽微な不具合は早期に修繕するようにし、経年劣化の進む公民館、地域交流教室の施設管理に努めた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>生涯学習基本計画に基づき、関係各課と密接に連携しながら施策を推進した。概ね部の運営方針に沿って事業を展開することができた。</p> <p>●生涯学習環境の充実では、各課が様々な場所で連携しながら様々な講座やイベントに取り組んだ。また、計画的な施設維持管理のため、公民館、図書館、市民体育館、鳥の博物館の長寿命化計画を策定した。</p> <p>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承では、特に文化財保存活用地域計画の作成や、文化祭や共催・後援の見直しに取り組んだ。</p> <p>●スポーツの振興では、台風やコロナ禍の下、連絡を密にしながら指定管理者制度による体育施設の運営、施設の修繕を行った。また、総合型地域スポーツクラブを始めとしたスポーツ団体の支援に取り組んだ。</p> <p>・東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントや市制施行50周年記念事業の検討を進めることができた。</p>	

課コード	05	課名	生涯学習課	課長名	菊地 統
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>1. 市民が学びたいときに学べる学習機会の充実</p> <p>○市民が学びたいときに気軽に学ぶことができるよう、生涯学習出前講座や公民館の学級・講座の実施、視聴覚機材等の貸し出しなどにより学習機会の充実を図ります。特に、社会教育主事が中心となった企画立案により幅広い世代が気軽に学べるように講座を拡充していきます。</p> <p>2. 人づくり・まちづくりにつながる学習活動への支援</p> <p>○市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、社会や地域の課題をテーマとした学習事業や、時代の変化や市民ニーズに合った学習事業を関係課や市民活動団体など、様々な主体と連携しながら実施します。</p> <p>○学習した成果を社会や地域の中で活かせる人材を育成・発掘するとともに、学習成果を地域活動やまちづくりに活かせるきっかけづくりを進めます。</p> <p>○市制50周年記念事業では、子どもたちの思い出に残り、次の世代へとつながるような充実した内容の企画を検討・準備します。</p> <p>3. 学習施設の整備・充実</p> <p>○市民が身近な場所で快適に学習できるよう、生涯学習センターや湖北地区公民館などの学習施設の適正な維持管理を行うとともに、中長期的な視点にたつて計画的に修繕を行います。</p> <p>○学校施設などの既存施設の有効利用を推進するとともに、地域交流教室の適正な維持管理と活用促進を図ります。</p> <p>○新たな文化施設の整備に向け、企画課と連携して取り組むとともに、文化施設整備基金の管理・運用を行います。</p> <p>4. 市民の学習活動を支える体制の整備・充実</p> <p>○市民活動団体や大学、研究機関などと連携しながら、学習機会の情報や講師などの人材情報、学習の成果を活かす場の情報など、生涯学習に関するさまざまな情報を収集し、広く市民に提供できる体制の整備・充実を図ります。</p> <p>○生涯学習に関する多種多様な相談に的確に対応できるよう、相談体制の充実を図ります。</p> <p>5. 生涯学習関連事業の進行管理</p> <p>○第三次生涯学習推進計画とその前期実施計画に基づいて、市が実施する生涯学習関連事業の進行管理を行い、施策の総合的推進を図るとともに、あびこ楽校事業のさらなる充実を図ります。</p>				<p>1 市民が学びたいときに学べる学習機会の充実</p> <p>ア) 年代別に設定した公民館の学級・講座や出前講座を実施した。</p> <p>イ) 少子化・高齢化・貧困などの社会的な課題に対応するよう、社会教育主事の会議を定期的に開催した。</p> <p>ウ) 生涯学習に対する横断的な課題の共有や情報共有のため、当課に所属する社会教育主事と学芸員、図書館司書と有資格者会議を定期的に開催した。</p> <p>2 人づくり・まちづくりにつながる学習活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの成果を地域に活かせるよう、熟年備学や長寿大学の講座に「地域の担い手づくり」の視点を設定し、実施した。</li> </ul> <p>3 学習施設の整備・充実</p> <p>ア) アビスタの設備の経年劣化に伴い、オープンスペース床、外壁等の修繕を行い、学習環境の充実を図った。</p> <p>イ) 地域交流教室の適正な維持管理を行った。</p> <p>ウ) 文化交流拠点施設については、令和元年5月にとりまとめた建設構想案に示されている規模、機能について関係団体から意見を聴取した。</p> <p>4 市民の学習活動を支える体制の整備・充実</p> <p>ア) 教育委員会と連携協定を締結している中央学院大学や川村学園女子大学と連携をして、共催での講座を開催した。</p> <p>イ) 千葉県高等技術専門学校と連携により、講座の実施及びアビスタの樹木剪定などを生徒の実習の一環として実施した。</p> <p>ウ) 市のホームページやあびこ楽校ニュース等で生涯学習の情報を広く提供した。</p> <p>5 生涯学習関連事業の進行管理</p> <p>ア) 生涯学習審議会を設置し、生涯学習施策について、意見をいただいた。</p> <p>イ) 審議会委員の研修会を近隣市と連携して実施した。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>○社会教育主事を中心とした企画運営体制にし、効率的・効果的な事業を推進できるようにする必要がある。</p> <p>○市内の教育機関と連携しながら、効果的な公民館運営を図っていく必要がある</p> <p>○アビスタ、湖北地区公民館とも経年劣化が目立っているため、効率的に予算を執行していく必要がある。</p> <p>○高齢化、少子化、貧困化などの地域的な課題に対する取り組みが必要である。</p>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や講座を担当する嘱託職員については、令和2年度の会計年度任用職員制度への移行に伴い、引き続き「公民館学級・講座コーディネーター」として任用し、継続して社会教育主事と協力して学級や講座の運営を行っていく。</li> <li>・社会教育主事会議を定期的に開催し、eモニターなどの市民アンケート調査の結果を踏まえ学級や講座の企画を継続して検討していく。また、平成30年度に新たに立ち上げた社会教育関係の有資格者会議を今後も継続的に実施し、横断的に効率の良い事業の実施などについて検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年の間に勤務実態と雇用形態の乖離が生じてしまった社会教育指導員については、嘱託職員として雇用しなおし、公民館コーディネーターとして学級・講座運営にこれまでと同様に取り組んでいる。実態にそぐわない状況になった時点で今後も雇用形態や業務を見直ししていく。</li> <li>・社会教育主事会議など、その専門性を生涯学習事業に生かす体制にしたことで時代に即した多様な取り組みが可能となった。また、部内の専門職の会議や市内の大学、専門校との連携など生涯学習事業の取り組みの多様性を今後も掘り下げていく。</li> </ul>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 視聴覚機材等の貸出	重無	51101	視聴覚機材等利用件数	件	273	260	269	103.46	現状
2 成人式	重無	51102	成人式への出席率	%	72	70	72	102.86	現状
3 新たな文化交流拠点施設整備の検討	重無	53101	市民に検討した内容を示す機会の回数	回	1	1	6	600	現状
4 地域交流教室の管理・運営	重無	51103	地域交流教室の利用率(総使用コマ数/使用可能コマ数)	%	16	50	17	34	現状
5 出前講座の運営	重無	51101	出前講座メニュー利用者数	人	3,891	4,000	3,199	79.98	現状
6 生涯学習普及啓発事業	重無	51201	生涯学習ニュース発行回数	回数	2	2	2	100	現状
7 生涯学習に関する情報提供と相談対応	重無	51201	人材情報、団体・グループ情報(ホームページ)へのアクセス数	件	2,976	3,300	3,564	108	現状
8 のびのび親子学級	重無	51102	受講者満足度	%	99	85	104	122.35	現状
9 公民館連絡協議会事務	重無	51102	千葉県公民館研究大会の参加者数	人	0	324	0	0	現状
10 家庭教育学級	重無	51102	受講者満足度(家庭教育の大切さを感じ、実践した受講生の割合)	%	95	75	95	126.67	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	熟年備学	重無	51102	学習内容に関心を持った学級生の割合	%	84	85	84	98.82	現状
12	長寿大学	重無	51102	地域活動への意識割合	%	75	75	75	100	現状
13	保育スタッフによる一時保育事業	重無	51101	保育利用者数	人	188	235	210	89.36	現状
14	施設管理事務	重無	51103	予定保守管理執行率	%	100	100	100	100	現状
15	湖北地区公民館の運営	重無	51103	1年間の延べ利用者数	人	162,267	156,000	161,478	103.51	現状
16	アビコでなんでも学び隊	重無	51101	満足度	%	99	96	106	110.42	現状
17	生涯学習推進計画の進行管理	重無	51201	実施計画に位置づけられた事業の進捗率	%	100	100	100	100	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	16	部名	生涯学習部	部長名	木下 登志子
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>教育大綱に基づき、市民が生涯にわたって生き生きとくらすための学習体制の充実を図る施策や事業を推進します。また、第三次生涯学習推進計画に掲げる「学び、活かし、つながるまち 我・孫・子」の基本方針を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたって学習を継続し、その成果を活かし、学習を通してつながるまちを目指して、関係各課との密接な連携のもとに、生涯学習施策の推進に取り組みます。</p> <p>●生涯学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館、図書館、鳥の博物館などでは、市民の学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域特性や社会動向に配慮した学習機会の充実に努めます。また、学習情報の提供・学習相談等により、自主的な学習活動を支援します。平成32年の市制施行50周年に向けて、記念事業の実施を検討・準備します。</li> <li>「我孫子市子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所で自主的に読書活動を行うことができるよう、学校及び関係機関等とより連携を強めながら積極的にそのための環境整備に取り組みます。</li> <li>施設の整備・充実では、公民館、図書館、鳥の博物館など施設・機能の充実に努めます。適正な維持管理や計画的な修繕を行うとともに、学校施設や既存施設を有効活用し、身近な学習の場の確保に努めます。</li> <li>学習で得た知識や経験を社会で活かすしくみづくりを進め、まちづくり活動へと発展するよう支援します。また、子どもの成長と自立への支援のため子ども部と連携し、地域の子どもの関係団体の活動を支援します。</li> <li>新たな文化交流拠点施設の整備に向けて取り組みます。</li> </ul> <p>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が文化芸術に触れ、参加できる機会を充実するとともに、文化芸術活動の創出や地域固有の文化の保存・継承に取り組みます。</li> <li>旧井上家住宅をはじめとした史跡や文化的資源の保存・活用を図るとともに、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を「我孫子の大正・昭和文化遺産」として、相互補完と連携強化を進め、創造的文化の歴史を体感する空間づくりを通じて魅力向上を図る等、さらに効果的な事業運営に取り組みます。</li> </ul> <p>●スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など地域の人材と連携したイベントの実施、総合型地域スポーツクラブの活動支援などを通して、子どもから高齢者まで誰もが身近な場所でスポーツを楽しみ、健康な生活が送れるよう生涯スポーツの推進を図ります。また、生涯スポーツを支える指導者の育成に関係団体等と連携し取り組みます。</li> <li>東京2020年パラリンピックの参加や関連事業の実施など、東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を高める事業を関係各課や団体と連携して取り組みます。</li> <li>体育施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設開放の適切な管理運営、民間スポーツ施設の活用や近隣市のスポーツ施設との相互利用によるスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに取り組みます。</li> <li>新たなサッカー場整備に向けて五本松運動広場の改修に取り組みます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>本市で育つすべての子どもたちが、読書の楽しみを知り、自ら考え、課題解決できる自立した人間に成長し、豊かな人生が送れるよう、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動ができる環境を整え、図書館・学校等関連機関が連携し、子どもの読書活動を推進していくために、我孫子市における子どもの読書活動推進に関する状況調査を行った。また、「子どもの読書連続講座」を開催し、現代の子どもたちを取り巻く環境や、絵本の読み聞かせについて、講師にお話しいただいた。</li> <li>移動図書館の新たな展開として、並木小学校への巡回を開始した。</li> <li>布佐分館の点字ブロック・タイル、アビスタ本館のパーティオの床等を修繕し、利用者にとって安全・安心で快適な施設環境の実現に努めた。</li> <li>出張おはなし会や小中学校へ職員を派遣し、読み聞かせ研修を通じて、市民の自主的な学習活動を支援した。</li> </ul>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>生涯学習基本計画に基づき、関係各課と密接に連携しながら施策を推進した。概ね部の運営方針に沿って事業を展開することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習環境の充実では、各課が様々な場所で連携しながら様々な講座やイベントに取り組んだ。また、計画的な施設維持管理のため、公民館、図書館、市民体育館、鳥の博物館の長寿命化計画を策定した。</li> <li>●文化芸術活動への支援と地域文化の継承では、特に文化財保存活用地域計画の作成や、文化祭や共催・後援の見直しに取り組んだ。</li> <li>●スポーツの振興では、台風やコロナ禍の下、連絡を密にしなが指定管理者制度による体育施設の運営、施設の修繕を行った。また、総合型地域スポーツクラブを始めとしたスポーツ団体の支援に取り組んだ。</li> <li>●東京2020年オリンピック・パラリンピック関連イベントや市制施行50周年記念事業の検討を進めることができた。</li> </ul>	

課コード	06	課名	図書館	課長名	宇賀神 修
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>図書館は、次の6つの重点項目を基本方針として、市民の自主的な活動を支援することに努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市民1人ひとりの声に耳を傾け、積極的に運営に反映させて、市民の誰もが気軽に利用できる図書館をめざします。</li> <li>地域の情報発信基地として、地域・生活課題の解決につながる資料を充実させ、市民が自ら考え判断していく材料を積極的に提供していきます。</li> <li>子どもをめぐる読書環境の向上に努め、学校等との連携をすすめます。</li> <li>高齢者・障害者へのサービスを充実させます。</li> <li>図書館の整備充実を図り、均等なサービスを展開します。</li> <li>施設の適正な維持管理に努めます。</li> </ol> <p>平成31年度については、上記目標を踏まえつつ、快適に市民が図書館を利用できるように努めます。また、市の子ども読書活動推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため策定した「子どもの読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所で自主的に読書活動を行うことができるよう、学校及び関係機関等との連携を進め、そのための環境整備に取り組みます。</p> <p>現移動図書館車は更新後17年が経過し不具合も増えてきています。安全で確実な運行のために、移動図書館車を更新します。車両に車椅子も利用可能なリフトを装備することにより、障害者の利用や、高齢者・障害者施設への移動図書館車での巡回を推進します。また、子どもの読書活動を推進するため市内各学校への巡回や貸出し等のサービスを行うなど、活用の幅を広げていきます。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の多種多様な資料・情報に対するニーズに応えるため、図書等のリクエストを受け付け、定期的にサービス選定会議(一般・児童)を開催し、資料収集と図書館サービスの向上に努めた。</li> <li>●杉村楚人冠記念館と連携して、郷土に関する講座を開催し、相互に利用促進を図った。</li> <li>●農政課と連携して、野菜作りに関する講座を開催した。</li> <li>●子どもの図書館利用の促進を図り、子どもが読書の楽しみを享受することができるように、各種おはなし会、子どものための科学実験講座、よむよむラリー(文字活字文化の日関連事業)、「本を読んでおろがみまめ本をもらおう!」(子ども読書の日関連事業)等を実施した。また、学校図書館・市民図書館連絡会議を開催し、子どもの読書環境の向上に努めた。</li> <li>●高齢者・障がい者へのサービスでは、市民スタッフによる対面朗読サービスの他、市内音訳ボランティア団体と協働でデジレコーダの作成・貸出を実施し、活字による読書が困難な市民へのサービスの充実に努めた。</li> <li>●本市で育つすべての子どもたちが、読書の楽しみを知り、自ら考え、課題解決できる自立した人間に成長し、豊かな人生が送れるよう、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動ができる環境を整え、図書館・学校等関連機関が連携し、子どもの読書活動を推進していくために、我孫子市における子どもの読書活動推進に関する状況調査を行った。また、「子どもの読書連続講座」を開催し、現代の子どもたちを取り巻く環境や、絵本の読み聞かせについて、講師にお話しいただいた。</li> <li>●布佐分館の点字ブロック・タイル、アビスタ本館のパーティオの床等を修繕し、利用者にとって安全・安心で快適な読書環境の維持に努めた。</li> <li>●移動図書館の新たな展開として、並木小学校への巡回を開始した。</li> <li>●移動図書館車の更新のため、コミュニティ助成事業に応募したが、平成31年度については、不採択となった。</li> <li>●図書館開館40周年記念原画展を開催した。画家の大社玲子さんが我孫子市民図書館のために描いたオリジナル挿絵の原画27点をアビスタで展示した(10月22日～31日、12月1日～25日)。</li> <li>●布佐分館第1会議室において、「野崎信一 成田線水彩百選展」を実施(2021年成田線開業120周年記念イベント)(2月4日～16日)</li> </ul>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>市民の誰もが気軽に心ゆくまで図書館を利用できるようにするため、資料の収集及び老朽化した施設の維持・整備を、財政課、企画課、資産経営課等と協議しながら、計画的に進める必要があります。また、限られた予算で一定のサービスを維持するために、長年の研修・経験で培われた専門的な知識を有する職員を育成・配置し、市役所各課と連携し、相乗効果が上がるように事業を行っていくことが必要です。</p>					

4. 原因分析・改善策	
(課長) ・移動図書館車の更新については、助成事業の応募と併せて、他の有効な方法を検討していく。	(部長) ・移動図書館車については、助成事業に3年応募し続けているが不採択となっている。学校への巡回や学校図書館との連携など移動図書館必要性が高いため、手法について再検討して早期に更新できるよう努めていく。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 カウンターサービス(貸出・返却・予約・案内・調べもの・配架等)	重無	51101	市民1人あたりの貸出冊数(全館分)	冊	7.4	8.2	7.4	90.24	現状	
2 ハンディキャップサービス(図書館利用に障害がある方へのサービス)	重無	51101	宅配、郵送、対面朗読各サービス年間利用件数(合計)	件	1,195	1,285	1,195	93	現状	
3 施設・団体への貸出サービス	重無	51101	年間団体貸出冊数	冊	31,350	32,270	31,350	97.15	現状	
4 移動図書館業務(委託)	重無	51101	移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数合計	冊	21,601	20,400	21,601	105.89	現状	
5 読書普及活動(講師派遣・出前講座)	重無	51101	出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み	人	1,202	1,080	1,202	111.3	現状	
6 図書館会議室及び展示スペースの提供	重無	51102	布佐分館会議室の利用回数(年間)	回	110	135	110	81.48	現状	
7 図書館PR	重無	51102	ホームページの年間アクセス数	千件	1,374	1,444	1,374	95.15	現状	
8 実習生受入れ・施設見学(一般・児童・生徒)	重無	51102	アビスタ探検隊参加者・図書館見学等参加者・実習生受入人数	人	987	1,110	987	88.92	現状	
9 図書館の情報化推進	重無	51103	インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)	千件	97	99	97	97.98	現状	
10 図書館施設・設備維持管理	重無	51103	施設の安全性達成率(修繕実施箇所/安全確保のための必要修繕)	%	100	100	100	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	図書館資料管理	重無	51103	所蔵資料数（図書・雑誌・AV資料）に対する最終不明資料の割	%	0.2	0.07	0.2	35	現状
12	市外図書館・大学・関係機関との連携協力	重無	51201	年間相互貸借冊数	冊	7,263	8,550	7,263	84.95	現状
13	成人・青少年へのサービス	重無	51101	年間貸出利用者数（12歳以下・団体利用は除く）	千人	240	267	240	89.89	現状
14	郷土行政資料サービス	重無	51101	郷土行政資料（我孫子資料・千葉県資料）の年間貸出冊数	冊	2,967	3,990	2,967	74.36	現状
15	児童へのサービス	重無	51101	児童書の貸出冊数	冊	204,093	223,480	204,093	91.32	現状
16	子どもの読書活動推進計画の進行管理	重無	51201	学校図書館との連携による授業支援	回	73	30	73	243.33	現状
17	図書館の整備	重無	51103	作成完了	%	100	100	100	100	現状